

2018 アクセスディンギー全日本選手権

2018年7月16日

レポート



スポーツ振興基金

独立行政法人日本スポーツ振興センター

日程・タイムスケジュール

7月16日

8 : 30 ~ 9 : 00 受付

9 : 00 ~ 9 : 30 開会式・艇長会議

10 : 00 第1レースの予告信号
2,3 S D-1
2,3 W D-3
303 S D-5
303 W D-6

12 : 00 第1レース終了

12 : 00 ~ 昼食時間

12 : 30 ~ 第2レースの予告信号
2,3 S D-1
2,3 W D-3
303 S D-5
303 W D-6

14 : 30 第2レース終了

15 : 00 ~ 表彰式

16 : 30 終了

レポート

オーストラリアで始まった、SAILABILITY(セーラビリティー)の基本概念は、セーリングを中心とするマリンスポーツを通じて、障害を持つ持たないに関わらず、生きて行くことを、力づけ、応援し、活動に参加した人達全てが、仲間となって人生を共に楽しむことということを目的としています。

1999年春に行われた第4回 OSAKA CUP メルボルン・大阪ダブルハンドヨットレースの開催が生んだ友好がきっかけとなり、同年8月、4隻のアクセスデンギーが、オーストラリアから、大阪市に寄贈されました。その後、大阪市舞州障害者スポーツセンターにより保管され、大阪市北港ヨットハーバー、大阪市港湾局など方々の協力で、SAILABILITY OSAKA によって、試乗会が継続して実施され、年齢、障害、そして地域を問わず様々な人達に、アクセスデンギーに乗っていただき、大変好評を頂きました。

セーリングが持つ可能性と、その素晴らしさを再認識した我々は、この活動をより多くの人々に広め、そして多くの人に大阪港を知ってもらえるためにも 2000年から毎年『セーラビリティー・カップ/アクセスデンギーレース』『全日本アクセスデンギー選手権』の開催をつづけてきました。

7月16日 第19回アクセスデンギー全日本選手権

7月16日に、好天の中、第19回アクセスデンギー全日本選手権が開催されました。

大阪では先頃の地震や今回の大雨等で、エントリーが少ない大会で

したが楽しいレースが開催されました。特に今回は、全盲の選手が参加なので音声ブイを使い、ソーセージコースで行ないました。





心配していましたが、徐々に慣れてレースを完走しました。

本格的なレースで、ブラインドの選手の完走はなかなか素晴らしい物です。

アクセスディンギーは、その日初めて乗った人でもすぐにセーリングすることができるほど操縦が容易なヨットです。そしてどんな障害をもった人でもヨットを楽しむことが可能です。しかし、いったんレースとなると、健常者も同じ条件で本気になって競い合うこともできるほどヨットとしての性能と魅力を兼ね備えています。

我々は、今回のレースの開催を通じて、日本全国のアクセスディンギーセーラーと、共にセーリングの楽しさを、年齢・性別・障害等による、差別の無い、アクセスディンギーを使った、簡単なレースを通じて味わっていただき、日本の多くの方々とセーリングの普及活動として、活動していきたいと思っております。





▼203 シングル

- 1位 : 中田陽次
- 2位 : 小田ひろし
- 3位 : 岡松平

▼203 ダブルス

- 1位 : 藤田昌弘&藤田ショウヘイ
- 2位 : 伊藤多美子&福井 TONY
- 3位 : マッシュービリンガム&弓良

▼303 シングル

- 1位 : 柳 慶子
- 2位 : 岡本健
- 3位 : 草薙 祥次

▼303 ダブルス

- 1位 : 岡本健&竹原三紀子
- 2位 : 西山 明 寺西 哲也
- 3位 : 藤田昌弘&藤田タイチ